

6.4 教育成果のあり方

進捗状況報告

【6.4.1 教育効果の測定】

教育上の効果を測定するための方法については引き続き検討していきたい。2007年度学部卒業生の進路状況としては、神学研究科への進学者 7名、一般企業就職者11名、その他他大学等への進学者 2名、教会教師 1名、などとなっている。

なお、聖書科教師に必要な「宗教」を中心とした教育職員免許状取得件数（一括申請による）は、以下のとおりである。

	宗教（中・高一種）	公民	その他
2007年度	7件	3件	2件
2006年度	8件	1件	0件

【6.4.2 厳格な成績評価の仕組み（成績評価法）】

毎年2回開催しているFD研修会のなかで、「シラバス」とならんで「成績評価」について意見交換を行っている。またGPA制度を使った評価を行い、これによった顕彰制度を設け、基準に達した学生を年度はじめに公に顕彰している。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

2009年度より大学で一斉に実施される予定の英語TOEICテストなどを参考にしつつ、教育効果について多角的に判断する方法を考えたい。

学内第三者評価

目標に沿った教育成果を挙げつつあると判断できる。GPAを利用して基準に達した学生を顕彰していることは評価できる。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
教育効果の測定には、教育職員免許状取得状況のほか、各種の資格試験・能力試験等の結果もデータとして利用できるため、教育目標に沿った分野での学生の活動状況を多方面から把握しておくことが望まれる。